

エア・リキード、日本における次世代AIチップ増産支援に2億ユーロの投資を決定

エア・リキードは、世界的な半導体大手の大規模な事業拡張を支えるため、広島県に2つの最新鋭産業ガスプラントを自社工場として建設・運営します。新たな長期契約に基づき、総額2億ユーロを投じるこれらの製造ユニットは、AI技術の核となる最先端チップの製造に不可欠な産業ガスを供給します。国内での事業基盤を強化し、世界的に加速する半導体需要に対応することで、エア・リキードは半導体産業における日本のプレゼンスをさらに強固なものにします。

新設される製造設備は、2028年末の稼働を予定しており、**最先端チップの生産に向けた超高純度窒素、酸素、アルゴンを大規模に供給します**。超高純度ガスは、半導体製造工程において清浄度と信頼性を左右する重要な要素であり、同業界の極めて厳格な基準を満たすために必要不可欠です。

エア・リキードは、**40年以上にわたり日本の半導体産業を支える主要サプライヤーであり**、つくばのアドバンスドマテリアルセンターをはじめ、国内に78カ所のエレクトロニクス関連プラントを展開しています。また、2019年に開設したイノベーションキャンパス東京を起点に、次世代チップ製造に向けた革新的な分子の開発と最先端ソリューションの実装を強力に推進しています。

今回の投資を通じて、**エア・リキードは日本およびアジア全域の半導体産業における先駆的な地位を揺るぎないものにします**。最先端技術と長年にわたる顧客との信頼関係を軸に、主要半導体メーカーの生産能力拡充を強力に支援し、**AI革命を加速させる中核的な役割**を担っていきます。

エア・リキード、アジア太平洋担当グループバイスプレジデント **ロニー・チャルマーズ**のコメント：「この新施設は、AI技術の原動力となる次世代チップ開発に向けた、お客様の急速な事業拡大や新規投資にいち早く応えるエア・リキードの確かな実力を示すものです。日本は1980年代から半導体産業におけるキープレイヤーであり、現在もなお世界の技術的リーダーであり続けます。我々の専門チームは、品質・安全・信頼性のすべてにおいて業界最高水準を求めお客様ニーズを満たす最先端ソリューションを提供し続けてまいります。」

日本におけるエア・リキード

日本エア・リキード合同会社（ALJ）は1907年に創業、100年以上にわたって日本の産業の発展に貢献してきました。ALJは約2,000人の高度な技能を持つ従業員を擁し、エレクトロニクスなどの産業分野の企業に窒素や酸素を供給し、お客様と連携して問題解決や共同研究を行っています。

お問い合わせ

日本エア・リキード合同会社 広報本部

www-aljcommunications@airliquide.com

03-6414-6728

エア・リキードについて

酸素、窒素、水素などは、生命、物質、エネルギーに必要不可欠な小分子であり、エア・リキードの科学領域を具現化するものとして、1902年の創業以来、当社の研究領域と事業活動の核となってきました。

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界59カ国で65,000人の従業員を擁し、430万以上のお客様と患者の皆様へサービスを提供しています。2025年度の売上高は約270億ユーロに達し、エア・リキードは強固なパフォーマンスと価値ある成長を両立させています。

エア・リキードは、多角化された強靱なビジネスモデルと世界各地に根ざした強固な現地拠点を有するリーディングカンパニーです。高度なエンジニアリングの専門知識と技術革新を通じて、産業効率の向上、脱炭素化の加速、そしてバリューチェーンの強化を実現する拡張性の高いソリューションを提供しています。成長市場やメガトレンドに戦略的に注力し、長期的な付加価値を創造し、持続可能な未来を築くために、エア・リキードは、主要な産業・社会の変革に寄り添い、共に歩んでまいります。

エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ（A部）に上場されており、CAC40ならびにCAC40 ESG、EURO STOXX 50、FTSE4Good、Dow Jones Best-in-Class Europe Indexの構成銘柄です。